



名証メイン市場・東証スタンダード市場
証券コード:9221

フルハシEPO株式会社

名証IR ウィンターセミナー2023
会社説明会資料

2023年12月15日

目次

1. 会社概要

2. 当社の強み

3. 第2四半期決算概要・株主還元

4. 成長戦略・情報開示

会社概要



社名	フルハシEPO株式会社（英語名 FULUHASHI EPO CORPORATION）
上場証券取引所	名古屋証券取引所 メイン市場、東京証券取引所 スタンダード市場 証券取引コード:9221
創業	1947年12月
設立	1948年2月
本社	名古屋市中区金山一丁目14番18号
資本金	1,497百万円(2023年9月末)
従業員数	521名(連結:2023年9月末)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● バイオマテリアル事業● 資源循環事業● 環境物流事業
関係会社	<ul style="list-style-type: none">● 連結子会社:5社（国内3社・海外2社）● 持分法適用関連会社:2社(ともに国内)

理念と指針

経営理念

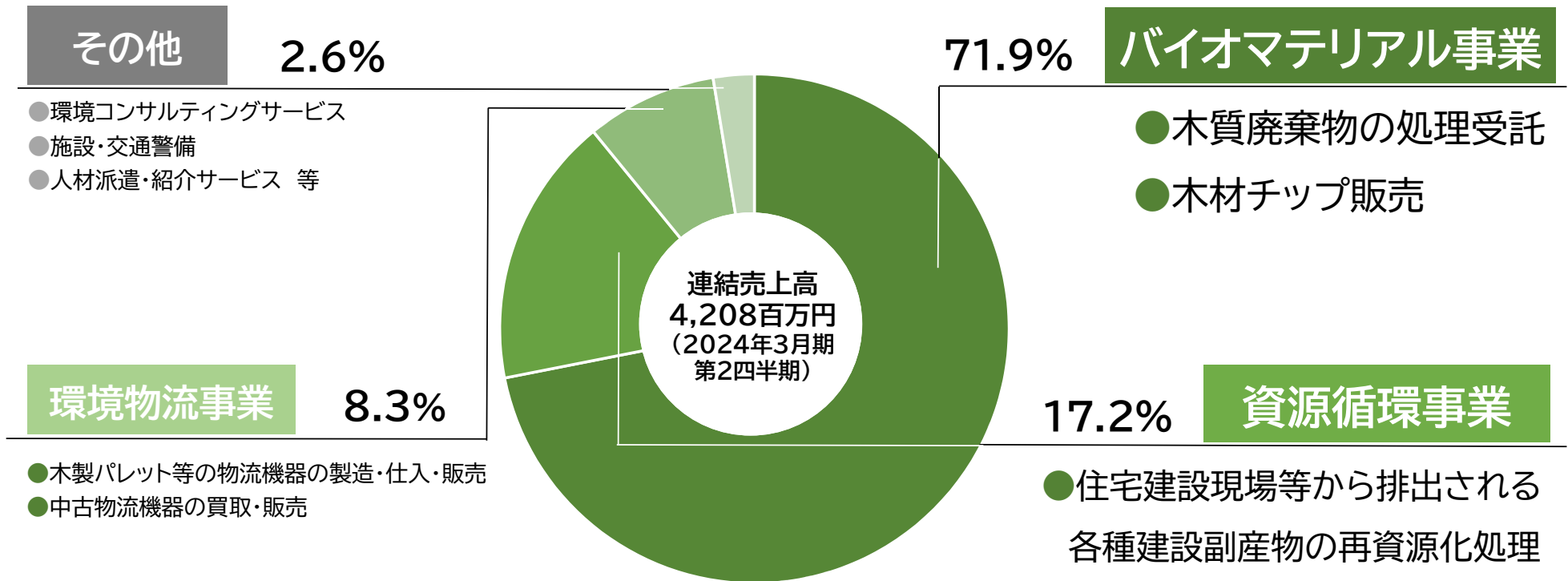
世のため 人のため 地球のため 社員のため
持続可能な社会を創造します



経営理念をもとに、
当社のマテリアリティを特定し、
中長期的な視点で、社会の持続可能な成長と
企業価値向上のため、
取組みを推進してまいります。

事業構成

バイオマテリアル事業、資源循環事業、2つの事業を柱に
総合的な環境ソリューションを展開し、サーキュラーエコノミーの実現に貢献



(注)各セグメントの外部顧客への売上高を連結売上高で除して売上割合を計算しております。

バイオマテリアル事業の概要

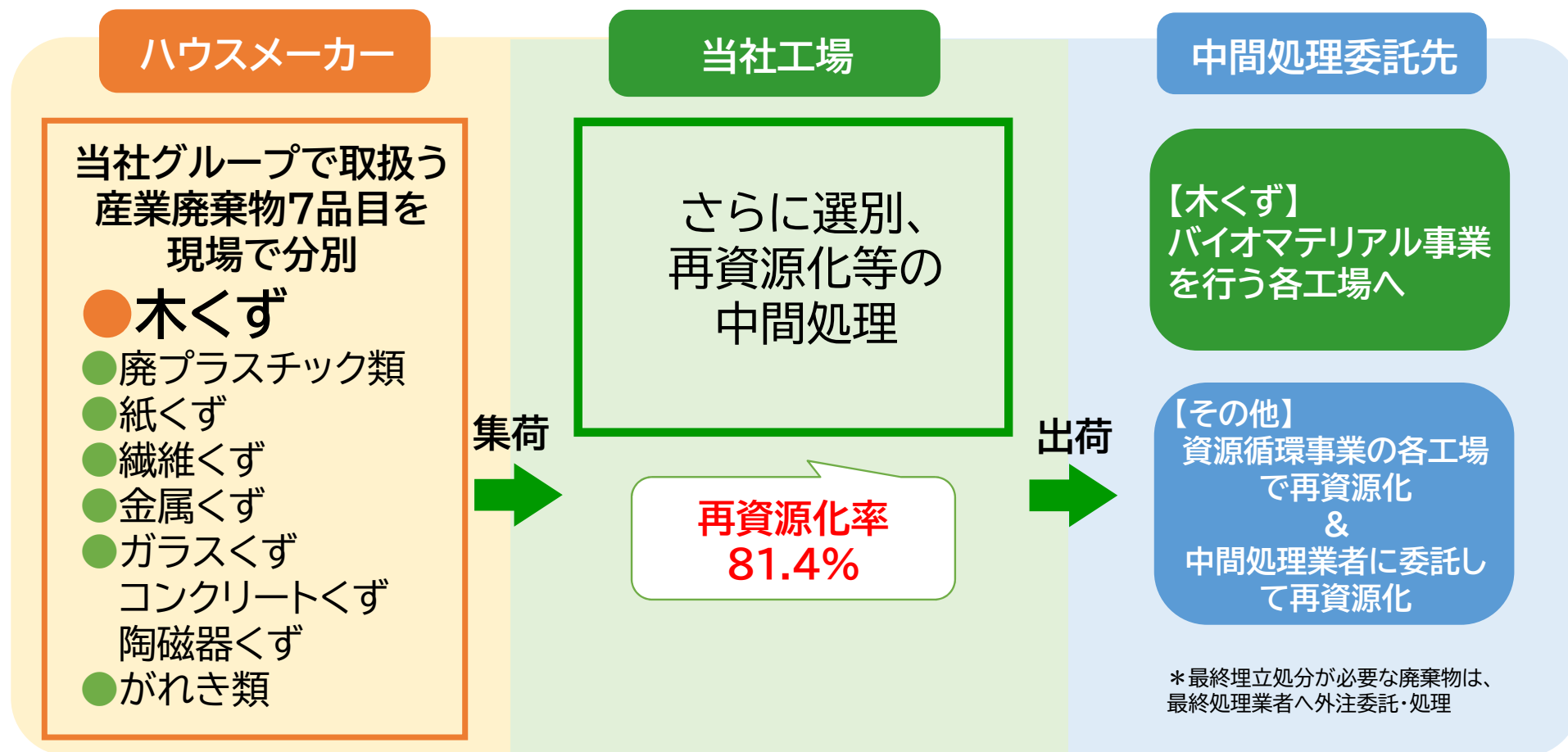


廃棄物排出事業者等から木質廃棄物の再資源化を受託し、
当社工場で木材チップに加工・製造し販売



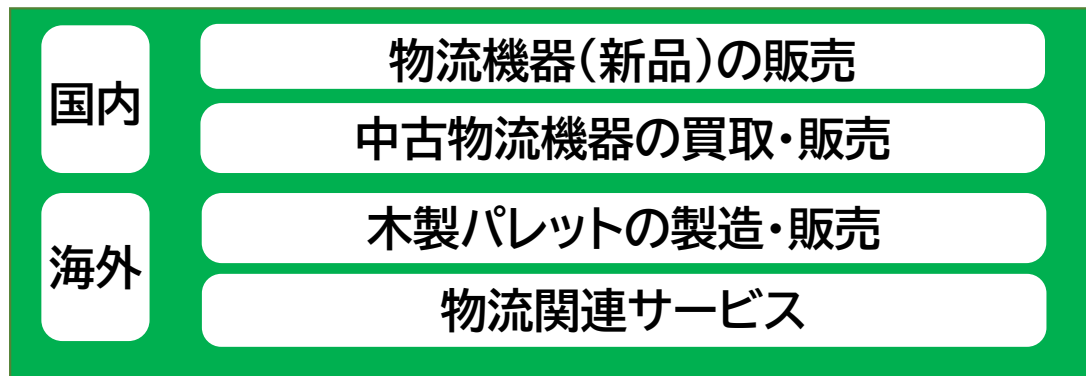
資源循環事業の概要

住宅建設現場等から排出される各種建設副産物(廃棄物)を
収集運搬し、当社工場で中間処理による再資源化



環境物流事業の概要

木製パレット等の物流機器の製造・販売、中古物流機器の修理販売・買取等
使用済み木製パレット等の再資源化処理を含めた総合的なソリューションを提供



再資源化処理を含めたソリューション

使用済み中古木製パレットの引き取り

- ➡ ① 修理した上で販売
- ② 木材チップの原料として再資源化
(バイオマテリアル事業と連携)



その他の事業(環境コンサルティング)



環境コンサルティングサービス



主なサービス

- SDGs戦略策定支援
- カーボンニュートラルの実現に向けた支援サービス
- 「LCA(ライフサイクルアセスメント)」及び「Scope(スコープ)3」算定サポート



「静岡県企業脱炭素化推進フォーラム」講演



「海岸漂着物環境学習プログラム」モデル授業(愛知県委託事業)

目次

1. 会社概要

2. 当社の強み

3. 第2四半期決算概要・株主還元

4. 成長戦略・情報開示

3つの特徴と強み

① バイオマテリアル事業の ダブルインカム

連結売上総利益率
(2023年3月期)

44.2%

上場産廃10社平均(2022年度)
(除くフルハシEPO)

28.3%

② バイオマス発電 事業への参画



川崎バイオマス発電所

(2011年2月運転開始)

共同出資:住友共同電力(株)、住友林業(株)



CEPO半田バイオマス発電所

(2019年10月運転開始)

共同出資:(株)シーエナジー(中部電力グループ)

③ 都市部を包括する 拠点展開

許認可工場

20か所

[中日本12か所 東日本6か所
西日本2か所]

営業所など

12か所

強み①ダブルインカム(バイオマテリアル事業)



廃棄物排出事業者等から木質廃棄物の処理を受託し、
当社工場で木材燃料・原料に加工・製造し販売



強み②バイオマス発電事業への参画



国内2か所でバイオマス発電事業に積極的に参画し、
年間17万トン超の**燃料チップ**を**安定的に供給**

川崎バイオマス発電所

(2011年2月稼働)

共同出資:住友共同電力(株)、住友林業(株)
株)ジャパンバイオエナジーより燃料供給



- ・発電出力 約33,000kW(発電端)
- ・CO2排出削減量 年間約12万トン

- ・発電出力 約50,000kW(発電端)
- ・CO2排出削減量 年間約15万トン



CEPO半田バイオマス発電所

(2019年10月稼働)

共同出資:株)シーエナジー<中部電力グループ>
当社愛知第七工場(半田)より燃料供給

強み③拠点展開(国内グループ拠点)



人口の多い都市エリアへの拠点展開



許認可工場

全国 **20** か所

(2023年11月現在)

中日本 **12** か所
(愛知県7、岐阜県2、
三重県2、静岡県1)

東日本 **6** か所
(千葉県3、神奈川県2、
埼玉県1)

西日本 **2** か所
(広島県1、滋賀県1)

強み③拠点展開(新拠点開設)



1) 岐阜第二工場(大垣)

岐阜県内2番目のバイオマテリアル事業の工場として
2022年5月に稼働開始

住所 岐阜県大垣市浅草三丁目135番地



2) 西東京工場(入間)

埼玉県初のバイオマテリアル事業の工場として
2022年11月に稼働開始

住所 埼玉県入間市狭山台三丁目9番5



3) 柏リサイクルガーデン

千葉県内2番目の資源循環事業の工場として2023年8月に稼働開始

住所 千葉県柏市大島田二丁目8番4

4) ロジポート名古屋営業所

東海地区における効率的な営業活動、サービスの向上を図ることを目的とし2023年11月に業務開始

住所 愛知県名古屋市中村区岩塚町字高道1番地1 ロジポート名古屋3階東オフィスエリアE317

目次

1. 会社概要

2. 当社の強み

3. 第2四半期決算概要・株主還元

4. 成長戦略・情報開示

第2四半期決算概要(業績ハイライト)



売上高

4,208百万円

前年同期比：6.5%増

営業利益

491百万円

前年同期比：28.7%増

当期純利益

482百万円

前年同期比：60.8%増

中間配当金

9月末日を基準日とする配当金につきましては

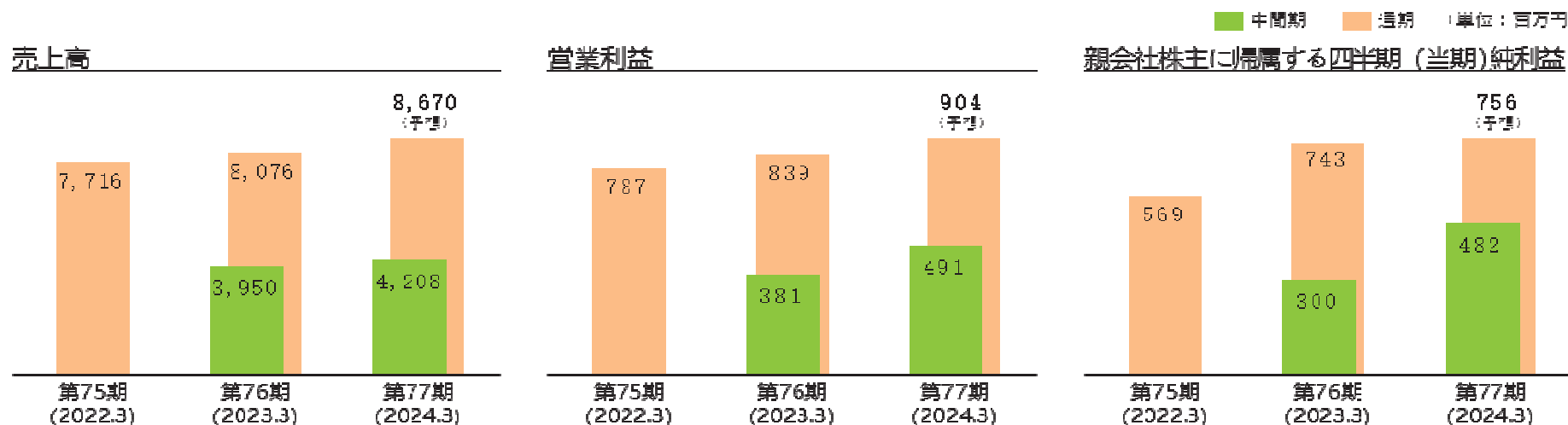
1株当たり13円

とさせていただきます

前年同期:10円※

※2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前年同期配当金は、当該株式分割後の1株当たり配当金に換算し記載しております。

業績推移



※2022年3月期の第2四半期については、四半期報告書を作成していないため、数値を記載していません。

事業環境

- 新型コロナウイルス感染症流行禍から経済は回復傾向にあるものの、引き続き世界的な資源価格の高騰と為替影響により原材料やエネルギーコストが上昇しており、先行きは不透明な状況

主な取組み

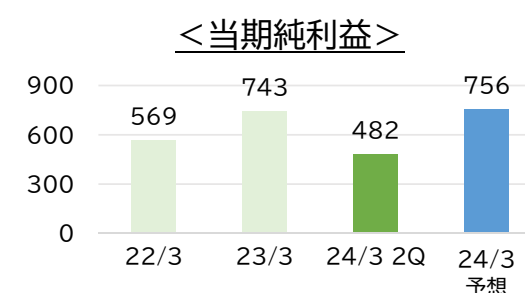
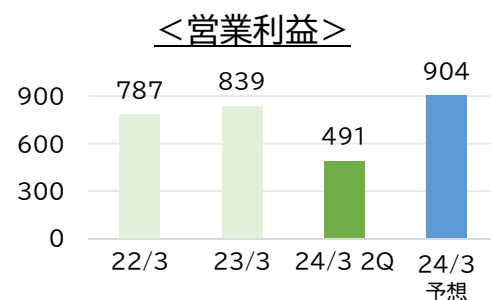
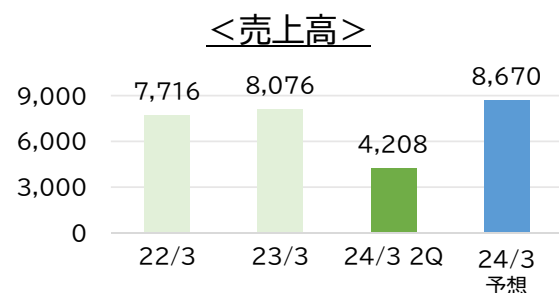
- 昨年開設した岐阜第二工場(大垣)、西東京工場(入間)の順調な稼働
当エリアでの新規顧客獲得に注力
- 資源価格の高騰と為替の影響による国内資源への需要増
- SDGsやカーボンニュートラルに関するコンサルティング業務の拡大

通期業績予想



(単位:百万円)

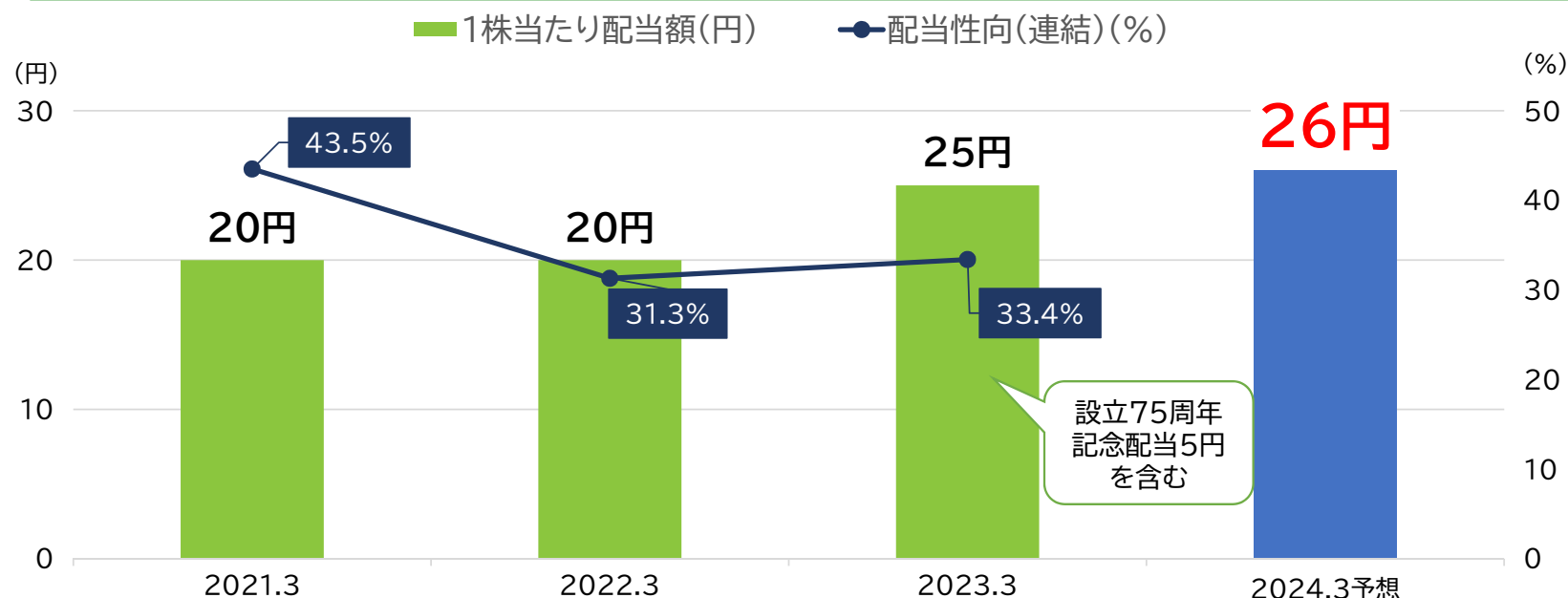
	2023年3月期	2024年3月期			2024年3月期 2Q累計	
	実績	業績予想	増減額	増減率	実績	進捗率
売上高	8,076	8,670	594	+7.4%	4,208	48.5%
売上高総利益	3,572	3,866	293	+8.2%	1,962	50.7%
営業利益	839	904	65	+7.8%	491	54.3%
経常利益	1,049	1,090	40	+3.9%	686	63.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	743	756	13	+1.8%	482	63.8%



配当方針

- 安定性・継続性に配慮し、業績動向、財務状況等を総合的に勘案して実施
- 2024年3月期の中間配当及び期末配当

足元の業績の好調な推移及び今後の経営環境の見通し等を踏まえ、中間配当は直近の予想から1株当たり**3円増額**を実施。年間配当予想を**26円**とする。



(注)連結配当性向は、有価証券報告書記載の「1株当たり配当額」を連結の「1株当たり当期純利益」にて除して算出しております。
2023年4月1日付で普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。上記の数値は株式分割を適用して算出しております。

目次

1. 会社概要

2. 当社の強み

3. 第2四半期決算概要・株主還元

4. 成長戦略・情報開示

成長戦略1-1 量的拡大 〔国内4例目のSDGsIPOとPO〕



環境面での社会要請に確実に応えながら、
成長分野をさらに拡大することで、永続的な成長を目指す

SDGsIPO 【(株)日本総合研究所からセカンドパーティ・オピニオンを取得】
特に以下の目標への貢献が期待できるとの評価をいただく。

- 目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 目標12 つくる責任 つかう責任
- 目標15 陸の豊かさを守ろう



2023年3月期
IPOとPOによる
資金使途

事業区分	資金使途対象	完了(予定)年月
バイオマテリアル事業 (再生可能エネルギー)	岐阜第二工場	2022年5月完了
	西東京工場	2022年11月完了
	愛知第八工場	2024年10月
	(株)フィニティ 滋賀第二工場	2024年10月
資源循環事業 (汚染防止及び抑制)	柏リサイクルガーデン	2023年8月完了
	湘南リサイクルガーデン	2024年10月
	東三河リサイクルガーデン	2025年4月

成長戦略1-2 量的拡大[今後の展望]

1. 需要地域への包括的な拠点展開

- 木質廃棄物処理拠点の新設及び資源循環事業拠点の併設
(多角的な収益源の確保と分散)

2. 木質バイオマス発電への積極的な参画

- 木質燃料チップ需要の創造
- 輸送面でのコスト及び環境負荷(CO2)の削減

- 再生可能エネの創出
- 資源循環の促進
- SDGsへの寄与

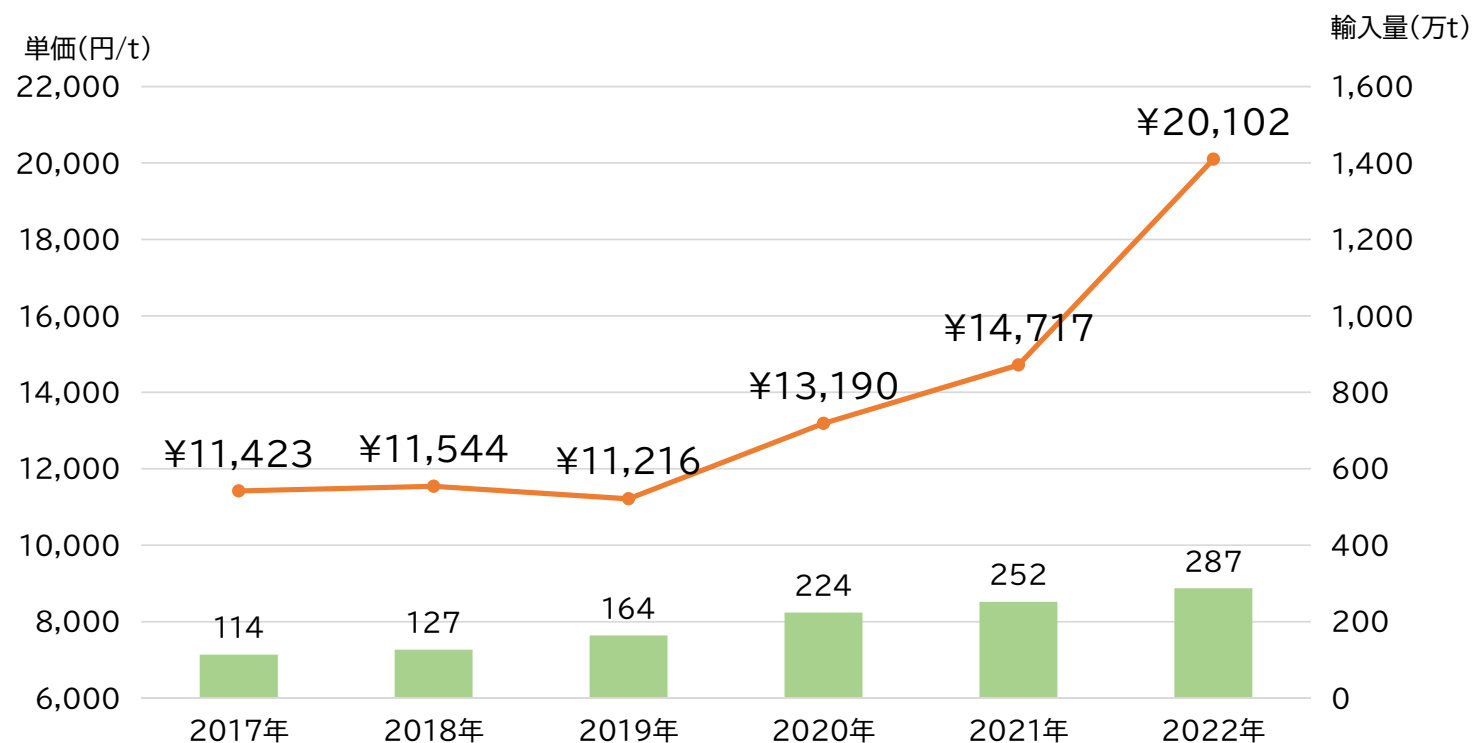


成長戦略2-1 外部要因〔輸入燃料の価格高騰〕



円安等による輸入燃料(PKS:パームヤシ殻)の価格高騰
⇒国内の木材チップの需要は引き続き増加

■ 輸入燃料(PKS:パームヤシ殻)の単価・輸入量



出所:財務省「貿易統計」に基づき当社が作成

■ 輸入量 — 単価

Copyright © FULUHASHI EPO CORPORATION All right reserved.

成長戦略2-2 外部要因〔空き家数の予測〕

空き家の増加が予想され、解体戸数も一定数を見込む

■ 総住宅数・空き家数の実績と予測



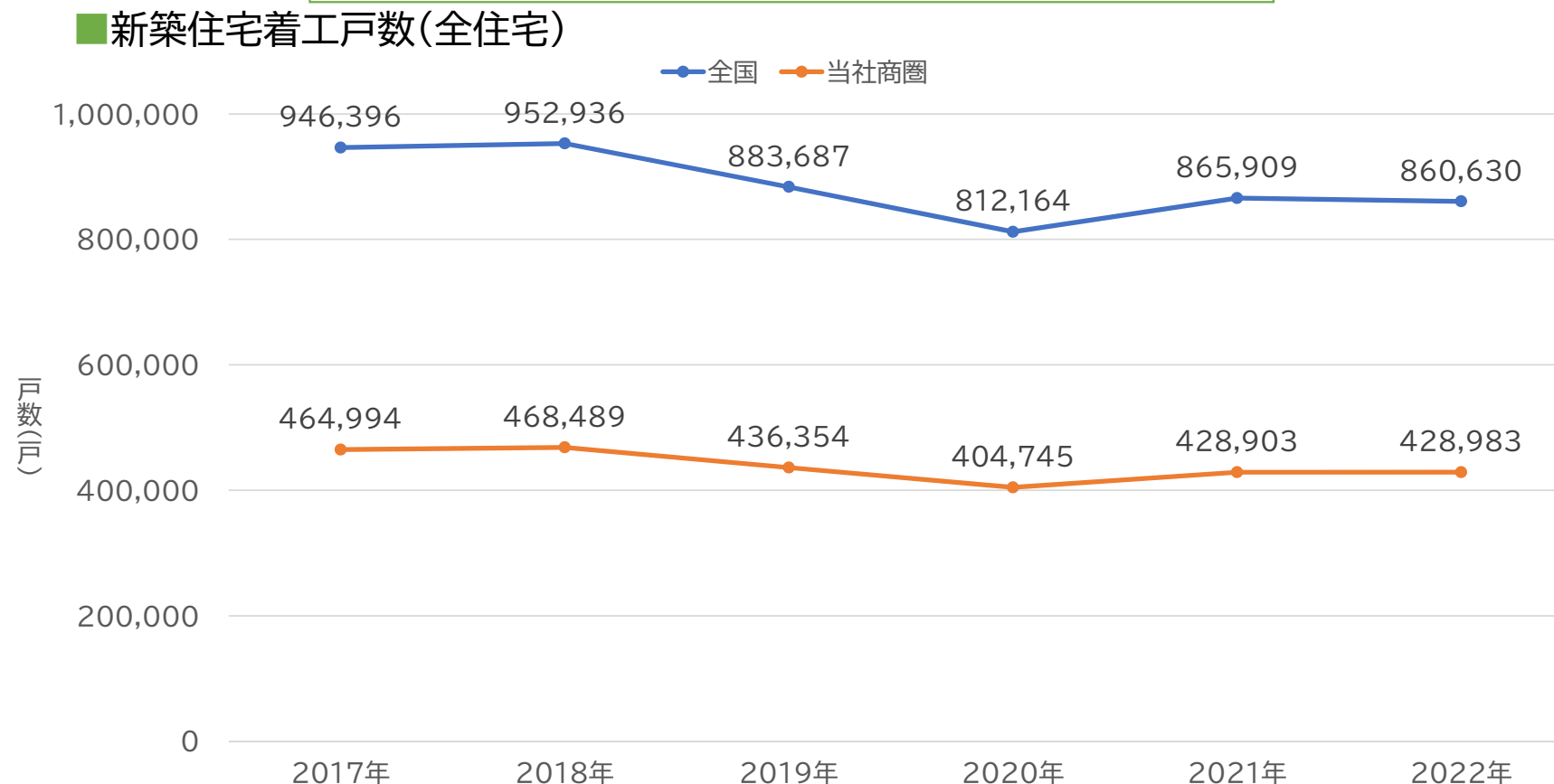
出所:野村総合研究所「2040年の住宅市場と課題(2020年6月9日)」に基づき当社が作成

Copyright © FULUHASHI EPO CORPORATION All right reserved.

成長戦略2-3 外部要因〔新築住宅着工戸数〕



新築住宅着工戸数は安定的に推移



出所:国土交通省「建築着工統計調査 住宅着工統計」に基づき当社が作成



①2023年8月 統合報告書「FULUHASHI EPO REPORT 2023」を公開

■CSR及びガバナンス方針・体制の報告、財務・非財務情報の開示、各生産拠点のCO2排出量の推移の開示、環境・社会性の報告等、統合報告書として情報開示を強化

②2024年 5月予定 中期経営計画策定・発表

本資料の取り扱いについて



■本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等の特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。

■本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。

■本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】

フルハシEPO株式会社 総務部

Mail:9221epo-ir@fuluhashi.co.jp

Copyright © FULUHASHI EPO CORPORATION All right reserved.